

東北

東北支局 (2仙台市青葉区三軒松屋)
022(2626)1967

石油機器の利点アピール

2自治体へ石連と提案

宮城石商(佐藤義信理事長)と石油連盟は先ごろ、宮城県富谷、角田両市の市長を相次いで訪問し、公共施設等のエネルギー源として災害に強く経済的な石油使用機器の導入を提案した。石連の宮城県内自治体訪問は5年ぶり、今年度の東北地方の自治体訪問は10件となった。



富谷市の若生市長(中央)に灯油の経済性を説明する松田副理事長(左列奥)



角田市の大友市長(右)に石油の優位性を訴える布川副理事長(奥左から2人目)

宮城

富谷市
富谷市役所では、宮城県石商から副理事長を招き、重要施設に石油製品を使用した機器を導入して、灯油の経済性をアピールする。市庁舎など、公共施設に導入する。市役所側が認識していき、市議会が賛成し、市議会が議決した上で、灯油の経済性を説明する。市役所側が認識していき、市議会が賛成し、市議会が議決した上で、灯油の経済性を説明する。

角田市
角田市役所では、宮城県石商副理事長を招き、重要施設に石油製品を使用した機器を導入して、灯油の経済性をアピールする。市役所側が認識していき、市議会が賛成し、市議会が議決した上で、灯油の経済性を説明する。市役所側が認識していき、市議会が賛成し、市議会が議決した上で、灯油の経済性を説明する。

黒川SS 2施設加え複合化

岩手

黒川SSは盛岡市郊外に立地するフルサークル型店舗で、赤十字に隣接している。黒川SSは盛岡市郊外に立地するフルサークル型店舗で、赤十字に隣接している。黒川SSは盛岡市郊外に立地するフルサークル型店舗で、赤十字に隣接している。

黒川SSは盛岡市郊外に立地するフルサークル型店舗で、赤十字に隣接している。黒川SSは盛岡市郊外に立地するフルサークル型店舗で、赤十字に隣接している。黒川SSは盛岡市郊外に立地するフルサークル型店舗で、赤十字に隣接している。

中国

中国支局 (広島市佐伯区山手)
082(264)6065

官公需事業の準備着々

担当役員・委員を選出

広島石商・協(大野徹理事長)は先ごろ、理事・支部長合同会議を開催し、共同受注担当役員および各委員の選考、石油協会との石油製品品質検査委託契約の締結について審議し、原案通り可決した。



共同受注担当役員などの選出をした広島理事・支部長合同会議

大野理事長(写真)は「業界を取連の官公需適格組合の準備は着々進んでいる。環境は非常に厳格な証明申請に関する手続は、なかの節目と通り、この時期にまわすこともあり、なかの節目と通り、この時期にまわすこともあり、なかの節目と通り、この時期にまわすこともあり、なかの節目と通り、この時期にまわすこともあり。」

各県から事業状況報告

中国支部

鳥取県中国支部(大英毅支部長)は、先ごろ、理事・支部長合同会議を開催し、共同受注担当役員および各委員の選考、石油協会との石油製品品質検査委託契約の締結について審議し、原案通り可決した。

トップ開催は中国支部(26日)

各県新年互礼会

全石連中国支部(大英毅支部長)は、26日午前11時30分から、ホテルグランドアール広島(広島市南区)において「新年互礼会」を開催する。また、中国地方各県の石油組合でも「新年互礼会」を開催する。

各県新年互礼会
各県の日程等は以下の通り。
▽広島石商・協 26日午後5時
▽広島市南区・ホテルグランドアール(広島市南区)
▽山口石商・協 31日午後5時(山口市・山口グランドホテル)
▽山口石商・協 2月5日(鳥取市内で開催予定)

ガソリンは
前年比3%減
10月・販売実績
中国経済産業局は、10月、中国のガソリン販売量が前年同月比で3%減少したと発表した。10月のガソリン販売量は1億7,200万リットルで、前年同月比で3%減少した。10月のガソリン販売量は1億7,200万リットルで、前年同月比で3%減少した。

ガソリンは前年比3%減。10月のガソリン販売量は1億7,200万リットルで、前年同月比で3%減少した。10月のガソリン販売量は1億7,200万リットルで、前年同月比で3%減少した。

SSドライブウェイ簡易補修セット

●ボンド製品だから
ひび割れ部分・水溜まり部分・欠損部分・
アイランド部分の補修が簡単

施工は日曜大工感覚、翌日には通行可能。

- ① 下地をきれいにする。(注)下地は水洗いしないでください。
- ② 混合液を作る。
- ③ 混合液を塗る。(注)塗る量は1セット当たり150~250gまでとする。(全部使い切らなくて大丈夫)
- ④ 混合液と骨材を混ぜる。
- ⑤ 補修面にコテで押さえて仕上げる。

必要な材料の目安		梱包容量(1ケース)	色調
塗り厚	10mm厚 5mm厚	梱包数: 4セット入り	グレー
施工面積	1㎡当たり 4セット 2セット		
1セット 4.625kg			
●樹脂	A主剤 500g...液体 B硬化剤 250g...液体		
●骨材	C骨材 125g...粉体		
●骨材	D骨材 3750g...粉体		

組合員特別価格
1~9ケース 19,520円
組合員特別価格
10ケース以上 18,520円

製造元: コニシ株式会社ボンド建設部
お問い合わせは最寄りの石油組合または
全国石油業共済協同組合連合会
TEL.03(3593)5841

TATSUNO Challenge

100年の時を刻む歴史と経験、技術。そして次世代ニーズを融合し、未来を創ります。
一歩先行く「環境づくり」にチャレンジ。

タツノはこれからも、環境保全、給油の安全性、経済性への貢献を通じて、
より良きパートナーとなるために、さらなる努力を重ねてまいります。

株式会社タツノ 本社 / 〒108-8520 東京都港区三田三丁目2番6号 ☎ 050-9000-0567
http://www.tatsuno.co.jp/

近畿

公営バス向け軽油入札結果(1~3月)

県外大手の落札相次ぐ

畿内の主要都市である京都市・大阪市・神戸市・伊丹市の交通局が実施する公営バス向け軽油の入札で、新年分(1~3月)の落札結果がまとまった。落札平均単価は前年より10%以上上昇したが、落札業者は依然として県外大手販売業者が占められており、地場業者の活用を求める声はより一層高まりそうだ。

関西公営交通事業協会加盟業者・落札結果一覧 (1月~3月分)
発注者 発注地域 落札者 落札日 数量(千リットル) 落札価格(円/リットル)
京都 第1ブロック 中川物産 11月16日 630 92.6
第2ブロック 中川物産 800 93.4
第3ブロック 上原成商事 800 92.9
第4ブロック 三菱商事エネルギー 150 93.9
大阪市 - 中川物産 12月6日 2,100 91.7
神戸市 その1 中川物産 12月8日 750 92.0
その2 中川物産 1,220 92.0
伊丹市 - 伊丹産業 12月15日 360 90.7

注1) 京都の数量は12~翌年1月分、北九州の数量は12月分のみ
注2) 落札価格は小数点第1位まで表示(消費税抜き、軽油引取税込み)

公営交通事業協会に加盟する会員都市で、畿内の交通局を対象に、市営バス向けの軽油の落札結果をまとめた。京都のみ12月1月分を示している。結果、12月6日に開札した大阪だと、原油高の影響を受けたことで、前年よりも約1.7円高の約91.7円となった。また、ほぼ1カ月前に実施した京都だと92.6~93.9円であり、多少割安となっている。

10月・G2府4県とも減販売量
近畿経済産業局が10月の管内石油製品販売量の調査を発表した。10月の管内石油製品販売量は、ガソリンは2億2,000万リットル、軽油は1億3,000万リットル、重油計は4,000万リットルと、いずれも前年同月比で減少した。ガソリンは1.1%減、軽油は0.3%減、重油計は0.6%減となった。

12カ月連続で「緩やかに改善」
近畿経済産業局が先月の管内経済動向を公表した。12月の管内経済動向は、12カ月連続で「緩やかに改善している」と判断した。生産は横ばい傾向にある。個人消費は緩やかに改善し、特に10月の乗用車新規登録・届出台数は13カ月ぶりに前年を下回る前年同月比で減少の4.7万台となった。そのうち普通車は3%減、小型車が8%減だが、軽四車が5%増となった。

近畿2府4県石油製品販売実績(10月)
(単位:千リットル、カッコ内は前年比)
ガソリン 50(▲3%) 60(▲1%) 208(▲2%)
灯油 9(16%) 5(▲5%) 32(14%)
軽油 28(3%) 30(▲5%) 158(▲1%)
重油計 4(▲11%) 11(▲0.3%) 55(▲17%)
兵庫 奈良 和歌山
ガソリン 135(▲10%) 37(▲1%) 28(▲7%)
灯油 24(▲20%) 4(13%) 4(0.3%)
軽油 95(▲4%) 14(3%) 12(▲19%)
重油計 30(▲6%) 2(36%) 10(15%)

SEVONIC 参加者募集
コスト削減事例なども紹介
近畿経済産業局は現在、「VOC・水銀排水・溶剤の使用や洗浄工程等におけるVOC削減対策」について、地球環境への影響や作業者の健康面に配慮した衛生環境だけでなく、コスト削減や作業環境改善といった事例も紹介する。また、大気汚染防止法改正の直近動向や排出削減の実践事例も紹介する。

組織
SKグループが全石連訪問
<1日>韓国4大石油元売の最大手企業・SKグループの関連会社であるSKネットワークスの社員一行が11月17日に全石連を訪れ、加藤文彦副会長・専務理事、坂井信常専務理事とこれからのSSのあり方などについて意見交換した。

鹿野・JICAと災害協定
<13日>鹿野市商・協(渡邊一正理事長)は5日、独立行政法人国際協力機構(JICA) 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所と災害時協定を締結した。47都道府県石油組合がJICAと協定締結するのは全国初めて。

鹿野・市内「元日休業」急増へ
<15日>鹿野市商(笹田隆司理事長)が実施したアンケートによると、鹿野市市内ではフルSSの8割以上が来年元日を「休業日」にすることがわかった。今年休業したのは約1割で、同市商が呼びかけている『働き方改革』が進んでいることが裏付けられた。『満タン&灯油プラス1缶運動』にもつながることが期待されている。

静岡・袋井で初の災害対応実地訓練
<27日>静岡市商(鈴木裕司理事長)は先ごろ、袋井市の大洋油脂(久野滋社長・出光系)袋井方丈SSで、災害時対応実地訓練を行い、震災発生時の初動対応を学んだ。同市商が実地訓練を行うのは初。

共同事業・秋期キャンペーン実績向上
<8日>全石連共同事業部会(大江英毅部会長)は5日開いた会合で、9~11月の3ヵ月間にわたり実施した今年度秋期キャンペーン(共同購買事業部門) 実績を速報し、「給油伝票」と「洗車タオル」の両種目を31組合が達成するなど、昨年を上回る成果を収めたことを明らかにした。

新潟・電子たばこ、吸引自衛で指針
<13日>新潟市商広報委員会(土田裕委員長)・広報分科会(山田隆一委員長)は5日、電子たばこをSSで吸引することへの対応を協議し、組織としてフィールド内の電子たばこの使用を控えるよう、顧客に求めていくことを決めた。県石商として指針を示すのは全国初。

カーライフ
<6日>日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合が集計した10月の新車(乗用車)販売台数は、前年比で登録車が4.4%減の20.1万台(3ヵ月ぶり減)、うち外国メーカー車は7.6%増の2.1万台、軽4輪車が5.1%増の11.0万台、計1.2%減の31.1万台となり、合計では1年ぶりに減取した。

政策
<20日>資源エネルギー庁石油流通課は11日、11月末現在の自家発電機を配備した住民拠点SSの整備・指定状況を取りまとめた。11月は新たに140カ所の配備・指定が完了し、39都道府県で合計409カ所まで拡大した。

環境
<13日>資源エネルギー庁は8日、エネルギー情勢懇話会の第3回会合で、米国の原子力発電事業者・エクセル・コーポレーションとデンマークの風力発電事業者・オーステッド社を招き、原発や風力などのゼロエミッション電源(再生可能エネルギー由来の電源)を主力電源とする両社の経営戦略について聞いた。

市場
<8日>石連週報による12月第1週(11月26日~12月2日)のガソリン出荷量は前週比5.6%増、前年比1.6%増の98.6万リットルと回復。ただ、在庫は2.2%増、3.2%増の167万リットルで、再び余剰感が生じている。

計量機、出張買取します!
古い計量機の中古部品、売ります。
日本スタンドサービス株式会社
0120-016-889
http://www.nssk.co.jp/